

新苫前ウィンビラ発電所営業運転開始



北九州響灘洋上
ウインドファーム建設工事



ひびきウインドエナジー(株)提供

安比地熱発電所建設工事



安比地熱(株)提供

北九州市響灘太陽光発電所建設工事



さらきとまない
ウインドファーム更新工事



CONTENTS

- P.01 ごあいさつ
株主様からのご質問に社長がお答えします
- P.03 J-POWER “BLUE MISSION 2050”
- P.05 連結決算ハイライト
- P.06 大間原子力発電所レポート
J-POWER Shares 新規会員募集



代表取締役社長
社長執行役員

菅野 亨

ごあいさつ

企業理念

使命

わたしたちは人々の求めるエネルギーを不断に提供し、日本と世界の持続可能な発展に貢献する

信条

誠実と誇りを、すべての企業活動の原点とする
環境との調和をはかり、地域の信頼に生きる
利益を成長の源泉とし、その成果を社会と共に分かち合う
自らをつねに磨き、知恵と技術のさががけとなる
豊かな個性と情熱をひとつにし、明日に挑戦する

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年の夏は暑い夏でしたが、広く社会全体での節電の効果もあり、電力需給ひっ迫が問題となることはなく、無事乗り切ることができました。これからはまた電力需要が伸びる冬になりますが、電気事業者として気を緩めることなく、引き続き電力の安定供給に努めてまいります。

現在当社はJ-POWER“BLUE MISSION 2050”に沿った取組みを進めています。これは一言で申し上げると、電力安定供給を維持しながら、CO₂排出量を削減することで気候変動問題の解決に資することを目的とした取組みですが、2050年までの約30年という長期にわたってBLUE MISSIONの取組みを継続するためには、

この取組みが利益を生み出し続けるものでなくてはなりません。

かつて規制産業だった電気事業は自由化され、現在は厳しい競争環境にあります。この中で、当社がこれまで蓄積してきた安定的な電力供給や大規模な電源開発に係る知見や技術、ノウハウは、競争力の源泉と考えています。当社は、これらを最大限活用することで利益を実現し、この利益を原動力としてBLUE MISSIONの取組みをさらに加速し、気候変動の課題においても社会的な評価を高め株主の皆様のご期待に応える、このような好循環を実現したいと考えています。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株主様からのご質問に社長がお答えします

本年6月に発行した株主通信で実施した株主様アンケートにご協力いただきありがとうございました。お寄せいただいたご質問のほんの一部ではありますが、私からご回答申し上げます。

Q1 株価やPBRをどうやって上げるのですか？

A1 当社では、資産を長期に保有して売上や利益の拡大を目指すことに加えて、資産を売

却して収益化し、その資金を基に新規プロジェクトに再投資するなどの事業ポートフォリオの入れ替えなどにより、資本効率の改善に取り組んでいます。

当社のPBRはここ数年0.5倍を下回っています。当社の過去の株価を見ますと、2015年にパリ協定が採択された頃以降TOPIXを大きく下回って推移しています。このことから、石炭火力事業の縮小が見込まれる中での火力トランジションの進展や大間原子力計画等に対する不透明感について、投資家の皆様がリスクとして織り込まれているものと認識しています。

したがって今後株価を上げてゆくためには、再エネと海外事業への積極的な経営資源の投入、火力発電を水素発電に転換してゆく道筋や大間原子力計画の予見性の向上、資本効率管理指標の導入による効率改善などが必要と考えています。

東京証券取引所からも資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて計画を策定し開示することを求められていますが、当社では今申し上げたような改善の方向性を踏まえた具体的な取組みを、2024年度に発表予定の新中期経営計画に反映して開示する予定です。

詳しくは「2024年3月期(2023年度)第2四半期決算説明資料」18ページをご覧ください。

▶ <https://www.jpowers.co.jp/ir/pdf/231031presentation.pdf>



Q2 洋上風力の開発状況を教えてください。

A2 2021年10月に閣議決定された第6次エネルギー基本計画では、洋上風力は、大量導入やコスト低減が可能であるとともに、経済波及効果が大きいことから、再生可能エネルギー主力電源化の切り札として推進していくことが必要だとされています。

当社では総出力85.7万kWの大規模洋上風力発電事業である英国のトライトン・ノール洋上風力発電事業に参画しており、建設段階から技術者を派遣して、プロジェクトに携わりながら洋上風力発電事業のノウハウを蓄積してきました。本件参画により得られる洋上風力発電事業における建設・保守・運転に関する知見を活用し、現在は福岡県北九州市響灘地区において、2025年度の営業運転開始に向けて、他社と共同で北九州響灘洋上ウインドファームの建設を進めています。また、洋上風力発電の導入ポテンシャルの大きい一般海域においても、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

Q3 CCSの意義や安全性、投資効果を教えてください。

A3 化石燃料などから発生するCO₂を分離・回収して地中に貯留するCCSは、2050年断面でも化石燃料を使用する必要がある日本はもちろん、仮に発電で化石燃料を使用しない場合でも、CO₂発生が避けがたい産業から発生するCO₂を処理するのに必要となる、カーボンニュートラルの実現には必須の技術です。また、カーボンニュートラルを実現する社会では幅広い産業分野での水素の利活用も見込まれており、その水素を安定的に、大量に、そして安価に供給するためには、化石燃料とCCSを組み合わせたグリーン水素も必須です。

CO₂の分離・回収については当社も大崎クールジェンプロジェクトで実証しており、技術的に確立しています。またCO₂貯留についても世界で既に30件程度が稼働しており、日本でも苫小牧で実証が行われるなど、目新しいものではありません。

但し、一定のコストがかかります。このコストをどれほど抑制できるかが、我々事業者の課題です。再生可能エネルギーとバッテリーの組合わせと、火力電源とCCSの組合わせ、この両面での取組みが切磋琢磨して、カーボンニュートラルが実現することが最も蓋然性の高い見通しではないでしょうか。

これらの観点から、当社としての最適の電源の組合わせを追求してまいります。



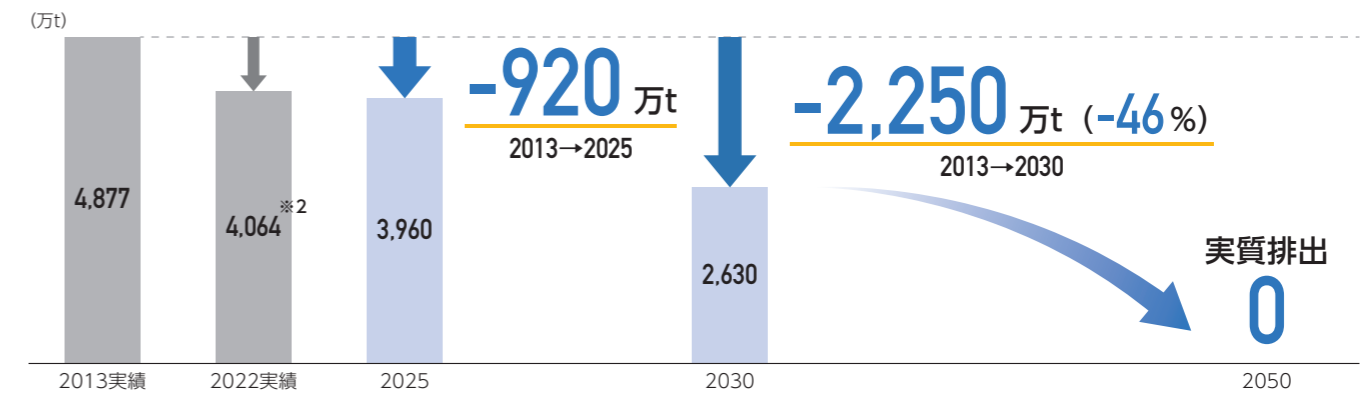
J-POWER “BLUE MISSION 2050”

J-POWERは、気候変動問題への対応を進めるにあたっては、エネルギー安定供給との両立が不可欠と考えています。その実現に向けた具体的な取組みがJ-POWER “BLUE MISSION 2050”。

エネルギー安定供給を維持しながら2050年のカーボンニュートラルを実現するには「CO₂フリー電源の拡大」「電源のゼロエミッション化」「電力ネットワーク」の取組みいずれもが必須であり、J-POWERはこれらを3本柱としてアプローチしています。J-POWERがこの3本の柱すべてに取組むことができるのは、創立以来70年以上にわたって幅広い技術、知見、ノウハウを蓄積してきたからです。

J-POWER “BLUE MISSION 2050”という現実的な取組みを着実に進めることで、エネルギー安定供給と気候変動対応の両立を目指します。

CO₂削減目標※1



※1 J-POWER国内発電事業CO₂排出量 ※2 2013年度比-813万t

J-POWERの技術・知見・ノウハウの蓄積

J-POWER “BLUE MISSION 2050”

水力発電

佐久間発電所(一般水力)



奥清津発電所(揚水発電)



水力発電はCO₂フリーであるだけでなく、迅速な出力調整が可能のため電力ネットワーク安定化にも寄与。特に揚水発電は、電力が余りがちな時間帯の電力を使って水を汲み上げて貯めておき、電力が不足しがちな時間帯にその水を落として発電する、大きな蓄電池の役割を果たす。

陸上風力発電

J-POWERでは2000年に運転開始した苫前ウィンピラ発電所※3を皮切りに、風力発電を積極的に開発。

郡山布引高原風力発電所



洋上風力発電

イギリスのプロジェクトで得た知見を国内で活用。



トライトン・ノール洋上風力発電所(イギリス)

地熱発電

日本の地熱資源量は世界第3位。40年以上運転した鬼首地熱発電所は今年4月にリニューアルして運転開始。

鬼首地熱発電所



太陽光発電

ルーフトップソーラー(タイ)



タイで工業団地等の工場の屋上に太陽光発電設備を設置し、CO₂フリー電力を供給。

原子力発電

安定して大規模に発電できるCO₂フリー電源。

大間原子力発電所(建設中)



CO₂フリー電源の拡大



再生可能エネルギー
原子力

水素製造/水素発電

EAGLEプロジェクト(2002-2014)



大崎クールジェンプロジェクト(2017-実施中)



石炭ガス化とCO₂分離・回収を組み合わせることで水素を製造し、それを発電に利用する実証試験。現在はバイオマス・石炭混合ガス化実証を実施中。

※ NEDO補助・助成事業として実施

水素サプライチェーン



日豪水素サプライチェーン構築実証プロジェクト(2015-2022)

オーストラリアで未利用褐炭をガス化して水素を製造し、日本に輸送するサプライチェーン構築実証プロジェクトに参画。J-POWERは褐炭ガス化と水素製造を担当。

CO₂有効利用

水素製造の過程で回収したCO₂を液化・運搬し、トマト菜園で有効利用する実証を実施。

大崎クールジェンCO₂分離回収・液化プロセス実証(2022-2023)



CO₂貯留

● J-POWERも出資する日本CCS調査(株)が苫小牧でCO₂貯留の実証試験を実施。2016年から2019年にかけて30万トン圧入。

● J-POWER、ENEOS(株)、JX石油開発(株)の3社で2030年度までの国内CCSの事業化に向けて「西日本カーボン貯留調査(株)」を設立。

電源のゼロエミッション化



CO₂フリー水素発電
CO₂フリー水素製造

架空送電線



J-POWER送変電では主に地域間を結ぶ地域間連系線を開発。そのほとんどが鉄塔に送電線を載せた架空送電線。



海底ケーブル

北海道と本州を結ぶ北本直流幹線。青森県の上北変換所から架空をたどってきた北本直流幹線は、このケーブルヘッドから海中に入り海底ケーブルで津軽海峡を越える。



橋梁敷設ケーブル



本州と四国を結ぶ瀬戸大橋に送電線を敷設。ケーブルを蛇行させることで、車や鉄道の通過、風などによる橋の揺れを吸収。

直流送電

長距離に適した直流送電。通常の交流電力を変換所で直流に変換して送電。



周波数変換所



周波数の異なる東西日本を周波数変換所で結び、電力の全国的な融通を可能にする。

電力ネットワーク



電力ネットワーク増強※4
電力ネットワーク安定化

※3 更新工事を行い、2023年10月20日に「新苫前ウィンピラ発電所」として営業運転開始

※4 電力ネットワーク増強の取組みは、電源開発送変電ネットワーク株式会社(J-POWER送変電)が担当

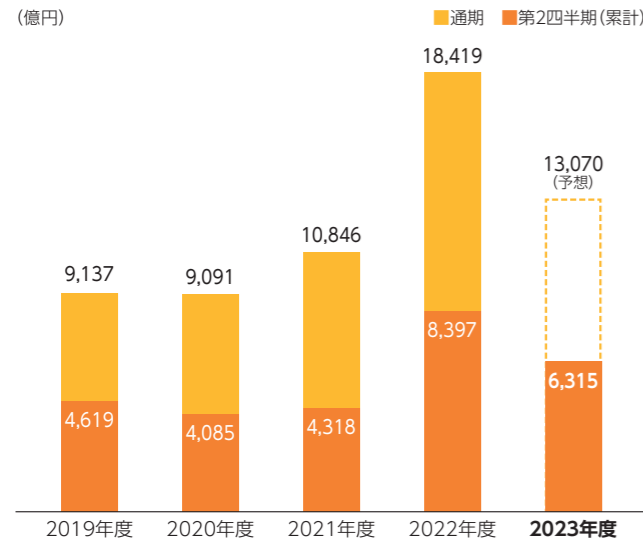
連結決算ハイライト

決算の詳細はこちらから

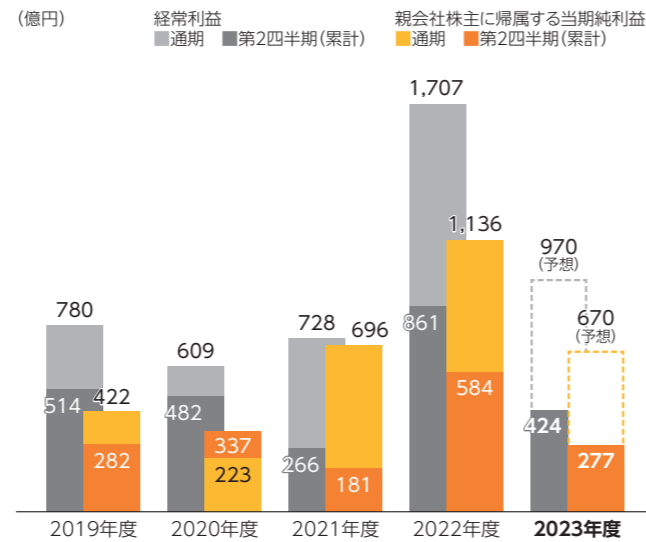
J-POWER IR 検索



■連結売上高（営業収益）



■連結経常利益／親会社株主に帰属する当期純利益



✓ 第2四半期決算のポイント

- 海外事業では販売電力量が増加しましたが、国内では火力発電所の利用率低下により販売電力量が減少し、また電力販売価格も低下したこと等から、売上高（営業収益）は前年同期比24.8%減少の6,315億円となりました。
- 利益面についても、日本卸電力取引所での販売において減益となったこと、また、昨年に比べて資源価格が低下していることにより、豪州炭鉱権益保有子会社において石炭販売価格が低下したこと等から、経常利益は前年同期比50.8%減少の424億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比52.5%減少の277億円となりました。

■2023年度通期業績予想について

2023年5月10日に公表した通期業績予想を修正しました。

- 売上高（営業収益）については、国内の販売電力量の減少や電力販売価格の低下、海外事業における電力販売価格の低下等による減収を見込み、前回予想比13.6%減少の1兆3,070億円に修正しました。
- 利益面では、豪州炭鉱権益保有子会社での石炭販売数量増加等による増益を見込む一方で、国内一部火力発電所の設備トラブルや日本卸電力取引所での販売における減益を見込み、経常利益は前回予想比11.8%減少の970億円、親会社株主に帰属する当期純利益は11.8%減少の670億円に修正しました。
- 今回、通期業績予想について減収減益の修正を行いました。配当については期初予想を据え置きました。当中間配当は1株45円とし、期末配当についても1株45円、年間配当90円の予想としています。

	2022年度実績	2023年度前回予想	2023年度今回修正予想
売上高	18,419億円	15,130億円	13,070億円
営業利益	1,838億円	1,110億円	870億円
経常利益	1,707億円	1,100億円	970億円
親会社株主に帰属する当期純利益	1,136億円	760億円	670億円
1株あたり年間配当金	90円	90円	90円

大間原子力発電所レポート

大間原子力発電所は2050年のカーボンニュートラルの実現にあたり重要な役割を担うほか、MOX燃料を全炉心で使用できるため、核燃料サイクルにおいても重要な位置を占めています。

現在大間原子力発電所は原子力規制委員会による新規規制基準への適合性審査を受けているところですが、それと並行して将来の運転開始を見据えた訓練も行っています。今回はその中から設備保守に関する訓練をご紹介します。

発電所は非常に多くの設備で構成されているため、運転開始以降はそれら設備を適切に維持・管理し、必要な修繕をしていくことが必要となります。そのためには発電所員が設備保守に関する知識や技能を身に付けなくてはなりません。机上で学習するだけでなく、実際の設備に触れながら技能を習得することも必要です。

今年3月に敷地内に設置された保守訓練センターには、配管やポンプなどの実物が配置され、実際に設備に触れる実技を通して不良箇所の発見などの技能を身に付けることができます。

保守訓練センター内の設備は今後も拡充していく予定です。座学と実技の両面から所員が必要な知識や技能を習得し、将来の安全な大間原子力発電所の運転に備えてゆきます。

▶ 「J-POWER Shares」ウェブサイトでは関連動画をご覧いただけます。下の二次元バーコードからご覧ください。



発電所建設地点

建設地点: 青森県下北郡大間町

出力: 138.3万kW

原子炉型式: 改良型沸騰水型軽水炉 (ABWR)

燃料: 濃縮ウランおよびウラン・プルトニウム混合酸化物 (MOX)

発電所概要

建設地点: 青森県下北郡大間町

出力: 138.3万kW

原子炉型式: 改良型沸騰水型軽水炉 (ABWR)

燃料: 濃縮ウランおよびウラン・プルトニウム混合酸化物 (MOX)

新規会員募集中 J-POWER Shares

J-POWER Sharesはこちら



株主様限定会員組織「J-POWER Shares」に入会いただくと、専用ウェブサイトから会員様限定のオリジナルコンテンツをお楽しみいただけます。

Sharesチャンネル



J-POWERを紹介する様々な動画をお楽しみいただけます。過去のバーチャル施設見学会の動画も視聴できます！

施設見学会



J-POWERの発電所などの施設見学会はJ-POWER Sharesから応募できます。次回の見学会のご案内は裏面をご覧ください。

Shares Talk



J-POWER経営陣が株主の皆様にお伝えたいことを連載中です。

入会は随時受付中です！ぜひご登録ください。

- **入会方法** <https://jpower-shares.jp/>
上記URLまたは右上の二次元バーコードから専用ウェブサイトへアクセスし、会員登録をお願いいたします。会員登録の際には株主番号を入力していただく必要がありますので、同封の配当金計算書で株主番号をご確認ください。



- **お問合せ** ご質問、ご不明な点は、下記までお問い合わせください。
J-POWER Shares 専用コールセンター（株）アイ・アール ジャパン内
TEL: 0120-981-962 (通話無料) 受付時間: 10:00～12:00、13:00～17:00 (土・日・祝日を除く)

J-POWER Shares 会員様限定

株主様向け施設見学会のお知らせ

磯子火力発電所

(神奈川県)

今回は、J-POWER Shares 会員様を対象として、横浜という大都市に立地する環境に配慮したコンパクトな都市型石炭火力発電所である磯子火力発電所をご案内いたします。

参加を希望される株主様はJ-POWER Sharesからご応募ください。まだJ-POWER Sharesに登録されていない株主様は会員登録後にご応募ください。



■ 行程(日帰り)

実施日

- ① 2024年2月 7日(水)
- ② 2024年2月 8日(木)
- ③ 2024年2月14日(水)
- ④ 2024年2月15日(木)
- ⑤ 2024年2月16日(金)

予定時間

13:00~17:00頃

※交通事情などにより解散時刻が前後する場合があります

集合・解散場所

JR磯子駅周辺

(神奈川県横浜市)

※発電所への自家用車などでの直接のご来場はお断りいたします

■ 募集要項

見学場所 磯子火力発電所 (神奈川県横浜市)

参加費 無料

(ただし、集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担でお願いいたします)

募集対象 2023年9月末時点で100株以上保有しているJ-POWER Shares会員である株主様
*小学生以上の方(1名)に限り同伴が可能です。同伴者は株主様以外でも構いません。
*新たに会員登録いただく株主様も募集対象です。

募集定員 各日とも30名程度(応募者多数の場合、抽選とさせていただきます)

お申込み J-POWER Sharesサイトからお申込みください
詳しくは下の「お申込み方法」をご覧ください

お問合せ J-POWER Shares運営事務局
TEL: 0120-981-962 (受付時間: 平日10-12時、13時-17時)

締め切り **2023年12月15日(金)**
当落の結果は1月上旬までにメールでご連絡いたします

ご注意 ご見学時は階段の昇降を必要とする場合があるほか、1時間程度お歩きいただく予定です

お申込み方法

- ① J-POWER Sharesサイトへログイン(会員登録が必要です)
- ② TOPページの「イベント情報」の「申込み/申込み内容の変更・確認」をクリック
- ③ イベント案内ページをご確認後、「お申込みフォームへ」をクリック
- ④ 参加希望日程と同伴者の有無を選択
- ⑤ お申込み内容を確認し「申し込む」をクリック
- ⑥ お申込み完了後、ご登録のメールアドレスにお申込み完了メールが送られます

J-POWER Shares リンク
▶ <https://jpower-shares.jp/>



〒104-8165
東京都中央区銀座六丁目15番1号
<https://www.jpowers.co.jp>



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。

本株主通信は2023年10月31日時点の情報に基づいています。